

公益財団法人 8020 推進財団

平成 30 年度歯科保健活動事業助成交付に関する報告

1、事業名：口腔機能発達不全症普及啓発活動事業

2、申請者名：特定非営利活動法人南日本口腔機能支援研究会 佐藤秀夫

3、実施組織：特定非営利活動法人南日本口腔機能支援研究会
鹿児島大学小児歯科

4、事業の概要：平成30年度診療報酬改定により、歯科診療報酬体系に口腔機能発達不全症が導入され、小児歯科標榜医も小児の口腔機能への対応が求められる機会が増加することが予測されている。しかしながら、口腔機能の検査、診断、対応は多くの歯科医療関係者が不慣れなことが多く、小児歯科専門医等からの指導・助言が必要である。本事業の実施により、多くの歯科医療関係者が口腔機能発達不全症の病態を正しく理解し、歯科医療が国民の健康に貢献することが、期待される成果である。今回は医療情報資源に乏しい離島地域である奄美大島において、口腔機能発達不全症説明会を開催した。口腔機能発達不全症の病態、診断、検査、対応法について説明し、ワークショップ形式でアクティブラーニングを実施する。開催にあたり、鹿児島県名瀬保健所およびチャレンジサポート奄美の協力を得て実施した。

5、事業の概要：「口腔機能発達不全症説明会」

日時：平成30年12月13日（木）18時30分～20時00分

実施内容

1) 講話「口腔機能発達不全症とスペシャルニーズ歯科」

講師：鹿児島大学病院 発達系歯科センター 小児歯科 講師 佐藤 秀夫

2) グループディスカッション

場所：鹿児島県大島郡地域振興局（大島支庁：鹿児島県名瀬市）

参加者概要

1) 参加者数76名（歯科医師10名、歯科衛生士10名、歯科助手10名、看護師5名、保育士8名、言語聴覚士7名、介護職8名、教員5名、栄養士2名、保健師6名、不明5名）

2) グループディスカッション

6、実施後の評価（今後の課題）：

参加者76名へのアンケートを実施した。「口腔機能発達不全症」を既に知っているとは回答したのは21名であった。講話内容を「よく理解できた」、「だいたい理解できた」と回答したのは74名であった。今回は歯科医療関係者以外にも多職種が参加する説明会だったが、多くの参加者が口腔機能発達不全症を理解できる内容であった。今後は各地域において啓発活動を実施予定である。